



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,942	42.8	1,887	—	4,360	—	3,176	—
25年3月期第2四半期	14,660	△37.5	△1,193	—	△2,751	—	△2,006	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,919百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △2,637百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	92.83	—
25年3月期第2四半期	△58.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	117,626	90,789	77.0
25年3月期	112,089	87,382	77.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 90,596百万円 25年3月期 87,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
26年3月期	—	15.00			
26年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	34.4	5,700	—	8,000	91.9	5,400	207.7	157.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	36,600,000株	25年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,379,569株	25年3月期	2,379,834株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	34,220,594株	25年3月期2Q	34,229,706株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では雇用の回復や堅調な内需に支えられ緩やかな景気拡大が続いていますが、欧州では足踏み状態が持続し、中国をはじめとする新興国でも成長ペースが鈍化するなど不透明感を拭えない状況となっております。一方で、わが国においては為替の円高是正が進み、輸出型の製造業を中心に景況感の改善が見られるようになりました。

このような経済情勢の中、当社グループは国内外ユーザーが抱える多様なビジネス課題に対して、当社製品の活用によるソリューション営業に注力いたしました。

当社のコア・ビジネスである横編機事業において、主力の中国・香港市場では人件費の上昇や労働力不足という課題に対して、コンピュータ横編機の更新による生産の効率化や品質の向上により競争力の回復をはかる提案を進めたことで、設備投資が回復しました。さらに、先進国アパレル向けの生産量が高まったバングラデシュやASEAN諸国においても、ボリュームゾーン向け機種である「SSR」を中心にコンピュータ横編機の売上が拡大しました。また、欧州、ロシア向けの生産拠点である中東のトルコにおいては、クイックレスポンス体制に対応すべく、生産効率の高い横編機の導入が前期に引続いて堅調に進みました。欧州ではコスト競争力の高いポルトガルや国内生産が高まった英国などで販売が伸びましたが、ホールガーメント*横編機を核とする消費地型生産の中心となるイタリアでは、景気停滞の影響を受けて売上は伸び悩みました。

国内市場では、産地に密着した「個展」や大手アパレルを対象とした「ファッションセミナー」の積極開催により、ホールガーメント*横編機を中心に売上が伸張しました。これらの結果、横編機事業の売上高は162億69百万円（前年同期比48.3%増）と大幅に増加しました。

デザインシステム関連事業においては、「SDS-ONE APEX 3」による三次元バーチャルサンプルを活用した、製品企画から生産、流通に至るまでの一貫したビジネス効率化の提案を積極的に展開したことで、アパレル業界のみならず家具、インテリア、雑貨等幅広い業種で採用が進みました。また、自動裁断機「P-CAM」についても海外売上が増えたことや、機種バリエーションを拡大し自動車内装部品、炭素繊維などの産業資材関連に販路が拡大したことで、売上高は15億57百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

手袋靴下編機事業は需要が回復し、売上高は5億53百万円（前年同期比62.8%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は209億42百万円（前年同期比42.8%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加に加えて、生産台数の増加にともなう原価低減などにより売上総利益率が上昇したことで、営業利益18億87百万円（前年同期は営業損失11億93百万円）となりました。また営業外で為替差益22億50百万円が発生したことで経常利益は43億60百万円（前年同期は経常損失27億51百万円）、当第2四半期純利益は31億76百万円（前年同期は純損失20億6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は前期末に比べ55億37百万円増加し、1,176億26百万円となりました。また自己資本の額は905億96百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて0.8ポイント低下し77.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において売上債権の増加や仕入債務の減少などにより13億59百万円の資金の減少（前年同期は19億79百万円の資金の増加）となりました。投資活動においては、有価証券の償還などによる収入はありましたが、有形固定資産の取得による支出などにより3億90百万円の資金の減少（前年同期は27億27百万円の資金の減少）となりました。

また、財務活動においては配当金の支払や短期借入金の返済などにより8億87百万円の資金の減少（前年同期は1億26百万円の資金の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は148億74百万円となり、前期末に比べて17億73百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月18日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

*ホールゲームントは、株式会社島精機製作所の登録商標です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,737	18,598
受取手形及び売掛金	33,700	40,505
有価証券	549	75
商品及び製品	11,026	11,637
仕掛品	1,014	693
原材料及び貯蔵品	6,303	6,408
その他	2,556	2,598
貸倒引当金	△1,133	△1,232
流動資産合計	73,754	79,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,751	5,636
土地	10,833	10,836
その他(純額)	3,553	3,580
有形固定資産合計	20,138	20,052
無形固定資産		
のれん	4,706	4,711
その他	110	100
無形固定資産合計	4,816	4,811
投資その他の資産		
投資有価証券	7,215	7,346
その他	7,355	7,411
貸倒引当金	△1,191	△1,282
投資その他の資産合計	13,378	13,476
固定資産合計	38,334	38,340
資産合計	112,089	117,626

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,445	5,471
短期借入金	5,399	5,199
1年内返済予定の長期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	384	1,263
賞与引当金	762	1,015
債務保証損失引当金	687	707
その他	2,929	3,119
流動負債合計	16,109	18,276
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
退職給付引当金	1,226	1,169
役員退職慰労引当金	1,064	—
長期未払金	—	1,073
その他	1,306	1,316
固定負債合計	8,597	8,560
負債合計	24,706	26,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	67,321	69,984
自己株式	△6,905	△6,903
株主資本合計	97,000	99,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259	340
土地再評価差額金	△7,350	△7,350
為替換算調整勘定	△2,720	△2,058
その他の包括利益累計額合計	△9,811	△9,069
新株予約権	181	180
少数株主持分	12	12
純資産合計	87,382	90,789
負債純資産合計	112,089	117,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,660	20,942
売上原価	9,750	11,799
売上総利益	4,910	9,143
販売費及び一般管理費	6,103	7,255
営業利益又は営業損失(△)	△1,193	1,887
営業外収益		
受取利息	176	152
受取配当金	57	71
貸倒引当金戻入益	239	—
為替差益	—	2,250
その他	131	114
営業外収益合計	604	2,588
営業外費用		
支払利息	38	42
デリバティブ損失	16	31
為替差損	2,057	—
固定資産賃貸費用	24	28
その他	24	13
営業外費用合計	2,162	115
経常利益又は経常損失(△)	△2,751	4,360
特別損失		
有価証券評価損	185	—
減損損失	23	—
特別損失合計	208	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,960	4,360
法人税、住民税及び事業税	20	1,035
法人税等調整額	△974	147
法人税等合計	△953	1,183
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,006	3,177
少数株主利益	0	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,006	3,176

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,006	3,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	80
為替換算調整勘定	△523	661
その他の包括利益合計	△631	742
四半期包括利益	△2,637	3,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,637	3,918
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,960	4,360
減価償却費	798	761
のれん償却額	169	183
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△100	523
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	252
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△113	△1,064
受取利息及び受取配当金	△233	△223
支払利息	38	42
為替差損益(△は益)	478	△993
デリバティブ損失	16	31
有価証券評価損益(△は益)	185	—
減損損失	23	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,774	△5,662
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,123	138
仕入債務の増減額(△は減少)	△635	△699
その他	138	1,011
小計	1,704	△1,340
利息及び配当金の受取額	234	209
利息の支払額	△35	△41
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	76	△186
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,979	△1,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,237	△2,561
定期預金の払戻による収入	641	2,233
有価証券の償還による収入	—	499
有価証券の売却による収入	199	—
有形固定資産の取得による支出	△283	△343
有形固定資産の売却による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
投資有価証券の売却による収入	14	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△11	△146
長期貸付けによる支出	—	△10
その他	△49	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,727	△390

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	900	△208
長期借入れによる収入	2,200	—
長期借入金の返済による支出	△2,300	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△156	△175
自己株式の取得による支出	△0	△3
自己株式の売却による収入	—	4
配当金の支払額	△769	△504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126	△887
現金及び現金同等物に係る換算差額	△429	862
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,304	△1,773
現金及び現金同等物の期首残高	14,190	16,648
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	421	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,307	14,874

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,969	1,263	339	12,572	2,088	14,660
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,969	1,263	339	12,572	2,088	14,660
セグメント利益又は損失(△)	1,106	180	23	1,310	△117	1,192

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,310
「その他」の区分の損失(△)	△117
全社費用(注)	△2,386
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,193

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,269	1,557	553	18,380	2,562	20,942
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,269	1,557	553	18,380	2,562	20,942
セグメント利益	3,706	351	61	4,119	281	4,401

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,119
「その他」の区分の利益	281
全社費用(注)	△2,513
四半期連結損益計算書の営業利益	1,887

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	生産高	前年同四半期比
横編機	14,769	225.7%
デザインシステム関連	1,381	120.5%
手袋靴下編機	481	125.6%
合計	16,633	206.0%

(注) 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	15,284	158.6%	3,847	172.6%
デザインシステム関連	1,619	122.8%	328	133.2%
手袋靴下編機	462	163.9%	150	422.1%
合計	17,365	154.5%	4,326	172.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	16,269	148.3%
デザインシステム関連	1,557	123.3%
手袋靴下編機	553	162.8%
その他	2,562	122.7%
合計	20,942	142.8%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。